

JAICAF 国際シンポジウム

私たちとアフリカ

—アフリカの貧困と飢餓の撲滅を目指した農業・農村開発—

日時：2011年1月20日（木）14:00～17:30

場所：独立行政法人 国際協力機構 JICA 研究所

背景

アフリカの貧困と飢餓——それは、私たち日本に住む者にとって、“どこか遠い世界の話”でしょうか。最近の世界的な経済危機と食料価格の高騰は、サブサハラ・アフリカに特に大きな負の影響を与えました。活発化する国際貿易は、私たちの生活とアフリカの人びとの生活を繋いでいるのです。アフリカでは今も、人口の3割以上の人びとが栄養不良に苦しんでいます（2009年）。そうした中、ミレニアム開発目標の第一の目標である「極度の貧困と飢餓の撲滅」の達成のために、農業・農村開発の果たす役割はますます大きくなっているといえるでしょう。

貧困と飢餓の撲滅のためには、食料増産、食料へのアクセスの改善および栄養改善とともに、所得の向上が必要です。国際機関や先進ドナー国は、これまで食料増産や食料へのアクセスの改善につながる支援を行ってきました。また近年は、これまでの援助の枠組みを超えて、民間企業などがアフリカの人びとをパートナーとしてビジネスを行う動きも活発化しています。在来資源を加工し付加価値を高めて売り出したり、あるいはアフリカの人びとのニーズに沿った、彼らが入手できる商品が開発され、人びとの生活に役立ったりしています。これらの動きが、現地の人びとの生活改善や所得の向上に結び付き、さらに現地の人びとによるアイデアや活動に繋がる例は、今後の援助活動にも貴重な情報と教訓になるでしょう。また、これまで援助機関やNGOが蓄積してきた現地の生活に密着した情報や活動の経験は、民間企業によるビジネスにも多くのヒントを与えるものと期待されます。

本シンポジウムでは、アフリカの貧困と飢餓の現状を見つめ直すとともに、先進国やNGO、民間企業が農村でどのような取り組みを行っているか、現状と課題を共有します。そして、優良事例から学び、それぞれがどのように連携して活動していけるのか、今後のあり方を検討します。

人びとの生活から見えるもの

主催：社団法人 国際農林業協働協会（JAICAF）

URL <http://www.jaicaf.or.jp>

後援：農林水産省、国際連合食糧農業機関（FAO）日本事務所
独立行政法人国際協力機構（JICA）

本シンポジウムは農林水産省補助事業「途上国支援のための基礎的情報整備事業（情報提供）」の一環として実施されます。

本日のプログラム

14:00 開会

主催挨拶	東 久雄	JAICAF 会長
農林水産省	強谷雅彦	大臣官房国際部国際協力課長

14:10 基調講演「持続可能な開発の促進を通じた貧困の闘い」

Godfrey Nzamujo	ソンガイ地域センター代表
-----------------	--------------

15:10 報告「アフリカの貧困と飢餓の現状～私たちの生活との関わり～」

富田杏子

15:25 (休憩)

15:40 パネルディスカッション「アフリカの貧困と飢餓の撲滅を目指して」

ファシリテーター：

高根 務	東京農業大学国際農業開発学科教授
------	------------------

パネリスト：

Godfrey Nzamujo 氏	NGO Centre SONGHAI 代表
狩野 良昭	独立行政法人国際協力機構 農村開発部課題アドバイザー
小山 修	独立行政法人国際農林水産業研究センター 研究戦略調査室長
スィアウ・オンウォナ・アジマン	東京農工大学准教授
中尾 洋三	味の素株式会社 CSR 部専任部長
吉田 千代子	特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド 開発事業部ウガンダ支部担当

事例報告 テーマ①「NGO の事例」

事例報告 テーマ②「アフリカへの JICA の農業協力
一元気なアフリカを目指して」

事例報告 テーマ③「味の素グループの途上国における事業事例」

17:20 閉会

JAICAF International Symposium

WE AND AFRICA

—Development of agriculture and rural communities aiming to eradicate poverty and hunger—

Time and date: 14:00-17:30 on Thursday, January 20, 2011
Venue: JICA Research Institute, Japan International Cooperation Agency (JICA)

Background

Poverty and hunger in Africa - are they sufferings going on “somewhere in faraway countries”, which have little to do with the lives of Japanese people? The recent worldwide economic crisis and sharp hike in food prices severely hit the sub-Saharan African countries, in particular. As the international trade grows in a very rapid rate, our lives have become more and more closely connected with those of African people. Amid the serious situation in Africa where more than 30% of the entire population are still afflicted with malnutrition (as of 2009), it is expected that the development of agriculture and agricultural communities will play an increasingly important role in an effort to “eradicate extreme poverty and hunger”, which is the Goal 1 of the UN’s Millennium Development Goals.

To achieve this goal, it is necessary to increase the income, besides boosting the food production and improving the access to food as aimed at so far by the international organizations and developed donor countries in providing the aid. In recent years, increasing number of private enterprises in developed countries have started business in Africa in partnership with the local people, going beyond the framework of conventional aid. They process the resources existing in Africa to sell value-added products, and develop goods meeting the needs of the African people and available at low prices to make their lives more comfortable. These moves have led to improvement of the lives of the local people, increase of their income, realization of their ideas, and launch of the business activities on their own. Such cases will provide precious information and lessons to us for the future aid activities. On the other hand, it is expected that the information and experiences NGOs and the aid organizations have accumulated so far in conducting their activities in close cooperation with the local people will offer numerous suggestions to the private enterprises interested in pursuing business in Africa.

This symposium intends to review the present situation of the poverty and hunger in Africa, and introduce the activities conducted in agricultural communities by NGOs, developed countries and private enterprises to identify the issues to be addressed. Moreover, the best practices will be examined to discuss the future direction of the aid activities from the viewpoint of how those parties can cooperate with one another.

Organized by: Japan Association for International Collaboration of Agriculture and Forestry (JAICAF) <http://www.jaicaf.jp/>

Supported by: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries; Food and Agriculture Organization of the United Nations, Liaison Office in Japan (FAOLOJA); and Japan International Cooperation Agency (JICA)

Their lives
are closely
linked with
ours.

What should
we do now?

Local community
business

aid
Worldwide
collaboration

What their lives
suggest us.

Find a clue to
the future
activities.

This symposium is assisted by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan (MAFF).

Today's Program

<Japanese –English simultaneous interpretation>

- 14:00 Opening Remarks
 Hisao AZUMA President of JAICAF
 Masahiko SUNEYA Director, International Cooperation Department,
 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan
- 14:10 Keynote speech “Fighting the Poverty through the Promotion of a Sustainable
 Development Culture”
 Godfrey NZAMUJO Representative of NGO Centre SONGHAI
- 15:10 Report “Present Situation of Poverty and Hunger in Africa
 - Connection with our lives -”
 Toko TOMITA
- 15:25 Intermission
- 15:40 Panel discussion “Aiming to Eradicate Poverty and Hunger in Africa”
 Facilitator: Tsutomu Takane (Professor of Department of International
 Agricultural Development, Tokyo University of Agriculture)
 Panelist: Godfrey NZAMUJO
 Yoshiaki KANO (Adviser of Rural Development Department,
 JICA)
 Osamu KOYAMA (Head of Research Strategy Office, Japan
 International Research Center for Agricultural Sciences
 [JIRCAS])
 Yozo NAKAO (Associate General Manager of CSR Department,
 Ajinomoto Co., Inc)
 Siaw ONWONA-AGYEMAN (Associate Professor of Tokyo
 University of Agriculture and Technology)
 Chiyoko YOSHIDA (Uganda Branch of the Specified Nonprofit
 Corporation HUNGER FREE WORLD)
- Case report (1) ”Cases of NGO”
 Case report (2) “Agricultural Cooperation for Africa – To Realize a Vital
 Africa”
 Case report (3) “Business Case Study of Ajinomoto Group in Developing
 Countries”
- 17:20 Closing

目次/Contents

1. 基調講演者略歴／ソングアイ地域センター概要	1
Biography of Keynote Speaker, Father NZAMUJO/Profile of SONGHAI Regional Center of Excellence	
2. 報告者およびパネリスト略歴	6
Profiles of Speakers	
3. 基調講演要旨	10
Keynote Speech: Summary	
4. 基調講演発表資料	14
Keynote Speech: Slides	
5. 報告「アフリカの貧困と飢餓の現状」 Report “Present Situation of Poverty and Hunger in Africa – Linkage with our life in Japan 要旨 Summary	62
発表資料 Slides	65
6. パネルディスカッション	72
Panel discussion “Aiming to Eradicate Poverty and Hunger in Africa”	
(1) 事例報告「NGO の事例」 Case Report 1 “Cases of NGO” 発表要旨 Summary	73
発表資料 Slides	76
(2) 事例報告「アフリカへの JICA の農業協力—元気なアフリカを目指して—」 Case Report 2 “Agriculture Cooperation for Africa – To Realize a Vital Africa” 発表要旨 Summary	96
発表資料 Slides	99
(3) 事例報告「味の素グループの途上国における事業事例」 Case Report 3 “Business Case Study of the Ajinomoto Group in Developing Countries” 発表資料 Slides	111

ゴッドフリー・ンザムジョ (GODFREY NZAMUJO) 神父

ゴッドフリー・ンザムジョ (GODFREY NZAMUJO) 神父 (ドミニコ会) は 1950 年にナイジェリア・カノ生まれ。これまでに次の学位を取得している。

- ・ 近代哲学および数学学士号
- ・ 神学 (Creation-Centered/Evolution Option) 修士号
- ・ システム・エンジニアリング学位を取得。
- ・ ロヨラ・メリーマウント大学 (カリフォルニア州ロスアンゼルス) 電気工学理学修士号
- ・ カリフォルニア大学アーヴァイン校において電気工学およびコンピューター・サービスの博士号を取得。
- ・ 国際高等研究所において経営科学の博士号を取得。
- ・ 経済哲学博士号

ンザムジョ神父は、1985 年にベナン共和国ポルトノボで設立され本部を同市に置くソングハイ地域センター (Songhai Regional Centre) の創設者であり、カリフォルニア大学アーヴァイン校リサーチ・フェロー/教授、カリフォルニア州ラグナヒルズ聖ニコラス・カソリック教会司祭 (Associate Pastor)、ロヨラ・メリーマウント大学工学部准教授なども務めた。

次のような分野に関する専門知識を有する。

- 工学：電気光学装置、デジタル・システム・マイクロ・エレクトロニクス、マイクロコンピューター・システム、離散数学および記号論理学、デジタル画像処理
- 生命科学：エコロジーおよび微生物学、土壌施肥、自然システムおよび水サブシステムのエネルギー経路、経済的視点から見た菌類学およびアフリカの生態系におけるその有用性、キノコの実験栽培と生産。持続可能な土壌「アグラデーション」システムとしての Ramial Whipped Wood (RCW) に特段の関心あり。
- 開発：統合システムおよび熱帯営農システム - その社会経済的視点と制度派経済学 - 植民地独立後のアフリカにおける社会工学
- 宗教分野 (Spirituality) に関しては、心理学的発展および社会的発展における妥当性に関する専門的知識。

現在の研究および開発テーマ：熱帯および制度的枠組みにおける持続可能な農業；再生可能エネルギー - バイオ燃料、農村部エネルギー開発；微生物学および土壌施肥 - バチルス・ラテロスポルス (Bacillus Laterosporus) およびライゾビア (Rhyzobia) - 湿度 - 統合土壌肥沃度管理における微生物環境および栄養素；水塊におけるエネルギー経路 - 都市および都市周辺部の廃水塊におけるエネルギー・シンク

「アフリカおよび第三千年紀の課題」に関する国連独立委員会メンバー、ローマ教皇庁立聖トマス・アクイナス・アンジェリカム大学 (The Pontifical University of St. Thomas Aquinas - Angelicum University) 名誉博士号、飢餓の持続的終焉に関するアフリカ・リーダーシップ賞 (ガーナのローリングス大統領と同時受賞)、イエズス会名誉賞、工学名誉賞 (カリフォルニア州)、国連南南協力ベスト・プラクティス賞、国連工業開発機関 (UNIDO) 農業起業家特別賞など数々の賞を受賞。

ソンガイ地域センター（SONGHAI REGIONAL CENTER OF EXCELLENCE） 組織概要

1985年に、ゴッドフリー・ンザムジョ（Godfrey Nzamujo）神父によって設立されたソンガイ地域センターは、ベナン共和国ポルトノボに本部を置く、社会経済的起業家のためのインキュベーション・センターです。ンザムジョ神父によれば、アフリカの貧困は単に機会を活かしてきていないことに原因があります。貧困に対する唯一の有効な戦い方は、アフリカの人々を社会的、環境的、精神的、経済的に健全な、効率的生産者に変えることだとンザムジョ神父は考えています。

ソンガイ地域センターは、数千に上るアフリカの若者たちの人生に影響を与え、プライドを持った有能な起業家に育て上げてきました。そこは、人々がインターンとして働き、単に技術のみならず適切な経営カルチャーをも学ぶことができる場所であり、農産物クラスターであります。センターで18ヶ月間学ぶ一般学生のほかにも、ベナン共和国の内外から数百人に上る人々が様々な分野での研修を受けるためにやってきます。

ソンガイ地域センターのトレードマークの一つが、地域資源の活用であり、それは持続可能な農業と工業およびサービス - 即ち環境的に持続可能なクラスター産業を統合する「グリーン農村都市」の開発に活かされています。この新しい居住地は、コミュニティ内のあらゆる社会経済的活動分野の間の相乗効果、相互補完および協力を基盤とするものです。アフリカの農村地帯に社会経済的な生存力を与え、農村部から都市部への大量の人口移動を逆転させることを目指しています。

2008年、ソンガイ地域センターは国連および西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）から Regional Center of Excellence として認められました。ソンガイ地域センターは、イノベーションやテクノロジーを動員してアグリビジネスを創出するための一大拠点です。

即ち人材育成および技術開発の拠点であり、小規模のアグリビジネスや、国によってはそのナショナル・センターを支援する地域サービス・センターであり、地域のネットワークを構築し、農工業分野の起業家を対象に技術支援や研修、その他のサービスを提供しています。そのほかにも、ベナン共和国内の4ヶ所に研修、研究、農業生産、ならびに本センター卒業生が生産した製品の販売を目的としたサテライト・センターがあります。さらに、ベナン、ナイジェリア、コンゴ、ブルキナファソ、コートジボワール、ケニヤ、トーゴ、マラウイ、ガーナ、ギニア、ウガンダ、シエラレオネ、リベリア、ザンビアの15ヶ国にもセンターを設けています。

FATHER GODFREY NZAMUJO'S BIOGRAPHY

Father Godfrey Nzamujo, O.P. was born in Kano, Nigeria in 1950. He achieved several degrees including:

- B.A. in Modern Philosophy and Mathematics,
- M.A. in Theology (Creation-Centered/Evolution Option)
- Higher Diploma in Systems Engineering
- M.S. in Electrical Engineering at Loyola Marymount University, Los Angeles, California,
- Ph.D. in Electrical Engineering and Computer Service from the University of California at Irvine
- Ph.D. in Management Science at the International Institute for Advanced Studies
- Ph.D. in Economic Philosophy

Father Nzamujo is the Founder and Director of the Songhai Regional Centre, established in 1985 and headquartered in Porto-Novo, Republic of Benin. He has also been a Research Fellow/Professor at the University of California, Irvine, Associate Pastor, St Nicholas Catholic Church, Laguna Hills, California, and Associate Professor of Engineering at Loyola Marymount University, Los Angeles, California.

He has expertise in various fields including:

- **Engineering:** electro-optical devices, digital systems-micro-electronics, micro-computer systems, discrete Mathematics and Symbolic Logic and digital image processing.
- **Biological Sciences:** ecology and microbiology, microbiology and soil fertilization, natural systems and energy pathway in water sub-systems, and mycology and its usefulness in African ecosystems - economic perspectives, Mushroom-laboratory culture and production. Special interest of Ramial Whipped Wood (RCW) as a sustainable soil "aggradation" system.
- **Development:** integrated systems and tropical farming systems- their socio-economic perspectives and institutional economics-social engineering in post colonial Africa.

His expertise in Spirituality includes its relevance in psychological and social development.

Father Nzamujo's present research and development interests include: sustainable agriculture in the tropics and the corresponding institutional framework, renewable energy - biogas, bio-fuels, rural energy development, microbiology and soil fertilization - Bacillus Lateresporus and Rhyzobia-moisture - microbiological environment and nutritive elements in integrated soil fertility management, energy pathway in water bodies-mining nutrient-energy sinks in urban and peri urban waste water bodies.

He was conferred many honors and awards including membership of the U.N. Independent Commission on "Africa and the Challenges for the Third Millennium", *Honorary Doctorate* of The Pontifical University of St. Thomas Aquinas - Angelicum University, Rome, *the Africa Prize for Leadership for the Sustainable End of Hunger* (co-winner with President Rawlings of Ghana), *Jesuit Honors Award*, *the Engineering Honors Award* (California), *UN South-South Cooperation best practices prize*, *Special Achievement Award in Agricultural Entrepreneurship* by the United Nations Industrial Development Organization (UNIDO).



SONGHAI REGIONAL CENTER OF EXCELLENCE

Company Profile

Created in **1985** by Reverend Father Godfrey Nzamujo, the Songhai Regional Centre of Excellence, headquartered in Porto Novo, Republic of Benin, West Africa is an **incubation centre for socioeconomic entrepreneurs**. In fact for Father Nzamujo, poverty in Africa is simply a result of the failure to harness the opportunity sets. In his opinion, **the only way to effectively fight poverty is to transform Africans into efficient producers of social, environmental, spiritual and economic wealth**.

The centre has so far **impacted the lives of thousands of African youths** and transformed them from idleness to proud and viable entrepreneurs. It is an extension space and a mother enterprise - cluster of agro industries - where people can come as interns to acquire not only techniques but also appropriate management culture. Other than the regular students who spend 18 months in the centre, hundreds of people come from within and outside Benin Republic to be trained in various fields.

One of the trademarks of the centre is its emphasis on the **utilization of local resources** in the development of **Green Rural Cities** that integrate sustainable agriculture, industries and services - A **cluster industry that is environmentally sustainable**. This new human settlement is based on synergy, complementarity and cooperation between all the sectors of the socio-economic activities within the community. It is designed to make Africa's rural areas socio-economically viable and to reverse the massive migration from rural to urban centres.

In 2008 Songhai was recognised as a **Regional Centre of Excellence** by the United Nations (UN) and the Economic Community of West African States (ECOWAS). Songhai Regional Centre is a centre of excellence where innovation and technology are used to create agri businesses. Hence, it is an incubation centre for Human Resource and technological development, a regional service centre that supports small scale agribusiness and national centres in selected countries, establishing networks within the region, to deliver technical support, training and other appropriate services to Agro-Industrial entrepreneurs. In addition to this, Songhai has also created four satellites in Benin Republic for training, research, agricultural production and marketing of goods produced by graduates of the Centres. Other centres are springing up in 15 countries in Africa – Benin, Nigeria (Rivers, Enugu), Congo, Burkina Faso, Côte d'Ivoire, Kenya, Togo, Malawi, Gabon, Ghana, Guinea, Uganda, Sierra Leone, Liberia, Zambia.

Testimonies

- “I am going to use my visit to Songhai as a strong message to many people in the world, particularly in the developing world, to follow this very creative, innovative system,”
“This is the way you achieve sustainable development.”

Ban Ki Moon, UN Secretary General

“Excellencies,

Despite the obstacles, despite the scepticism, despite the fast-approaching deadline of 2015, the Millennium Development Goals are achievable.

This year I visited nearly a dozen countries in Africa and saw for myself what is possible. At the millennium Village in Malawi....at the Songhai community in Benin... I saw innovation...integrated projects...and perseverance.

We must reward such faith with resolve of our own. By using the tools we have. By delivering the resources we need. Above all by exercising political leadership. I urge you to make the MDG your own.” **UN Sec Gen. Remark, 20 of Sept 2010 UN summit New York**

- “This is the second time I visited Songhai. I congratulate the creator of this initiative and his collaborators. The Songhai centre is a message for Africa. It shows that the utmost chance of Africans is Africa. Use what we have to get what we need is one of the key ideas of the centre. » **His Excellency Laurent GBAGBO, President of Côte d’Ivoire, May 04, 2010**
- « I am very glad that I came to Songhai, where everything is used, where the farmer can become self-sufficient and empowered by using everything. They produce everything, everything they eat, their power, their water, the machinery. I will remember Songhai, I will remember my lord brother and the good visit we have had here. ». **Her Excellency Ellen Johnson Sirleaf, President of Liberia**

報告者およびパネリスト略歴

(敬称略)

報告「アフリカの貧困と飢餓の現状～私たちの生活との関わり～」

富田 杏子 (とみた とうこ)

米国タフツ大学国際関係学部卒業後インドにて国際NGO・Global March Against Child Labourで児童労働解決に向けた国際キャンペーンの責任者を務める。2004年トーゴにて子どもの人身売買防止プロジェクト担当。2005～10年、(特活)ハンガー・フリー・ワールド国際事業部ベナン・ブルキナファソ担当/アドボカシー担当として地域開発事業に従事。2008年TICAD IV・NGOネットワーク運営委員。2009～10年動く→動かす運営委員兼パブリック・モビライゼーション・チームリーダー。食料への権利、アドボカシーなどの講師を務める。

パネルディスカッション「アフリカの貧困と飢餓の撲滅を目指して」

ファシリテーター

高根 務 (たかね つとむ)

東京農業大学 国際食料情報学部 国際農業開発学科 教授
農学博士。1986～1988年在ガーナ青年海外協力隊、1989～2008年アジア経済研究所勤務を経て、2009年から現職。2008年日本国際地域開発学会奨励賞、2000年日本アフリカ学会研究奨励賞などを受賞。『マラウイの小農：経済自由化とアフリカ農村』アジア経済研究所(研究双書No.561)、『ガーナのココア生産農民：小農輸出作物生産の社会的側面』アジア経済研究所(研究双書 No.498)、「アフリカ農村における土地市場取引と在来土地制度：マラウイの事例」『開発学研究』(第19巻第2号)など著書・論文等多数。

パネリスト

(五十音順)

狩野 良昭 (かの よしあき)

独立行政法人国際協力機構(JICA)農村開発部 課題アドバイザー(農業・農村開発)
1972年宇都宮大学農学部農学科卒業後、海外技術協力事業団(現 国際協力機構の前身)に入団。農業開発協力部農業技術協力課課長、スリランカ事務所長、林業水産開発協力部部長及び森林・自然環境協力部部長、ケニア事務所長、東京国際センター所長などを歴任し、2007年退職。2009年より現職。

小山 修（こやま おさむ）

国際農林水産業研究センター（JIRCAS）研究戦略調査室長

1979年に東京大学教養学部卒業後、農林水産省勤務。1986年から1993年まで、国連食糧農業機関（在ローマ）経済社会政策局計量経済専門官として勤務。引き続き、JIRCASにて農産物需給分析研究に従事。2002年同センター国際情報部長、2006年から現職。

スィアウ・オンウォナ・アジマン

東京農工大学准教授

ガーナ出身。農学博士。ガーナ国立クマシ科学技術大学森林資源研究所ティーチングアシスタント、名古屋大学農学部森林資源利用学研究室研究生、国際連合地域開発センター研究員、岐阜大学応用生物科学部助教授などを経て現職。高圧水蒸気を用いた接着剤を使用しないバイオマスボードの製造法等を研究、ガーナにおいてバイオマスボードの利用による乾燥地域における環境農業の普及活動にも取り組む。

中尾 洋三（なかお ようぞう）

味の素株式会社 CSR部専任部長

1981年味の素株式会社入社、国内営業の他、本社ギフト事業部門にてマーケティング担当。1994年カルピス株式会社出向、「カルピスウォーター」「アミールS」などプロダクトマネージャーを担当、2003年味の素株式会社本社経営企画部を経て、2005年CSR部を立ち上げ、現職に至る。

吉田 千代子（よしだ ちよこ）

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド 開発事業部 ウガンダ支部担当

青山学院大学文学部英米文学科卒。在日トルコ大使館、国際自由労連日本加盟組織連絡協議会、外資系証券会社勤務等を経て1990年にハンガー・フリー・ワールドの前身団体に翻訳・通訳担当として入職。2001年3月よりウガンダ支部担当を兼任。

Profiles of the speakers

Report “Present Situation of Poverty and Hunger in Africa - Connection with our lives”

➤ Toko TOMITA

Responsible for the international campaign for finding a solution to the child labor problems in the international NGO, Global March Against Child Labor in India after graduating from the International Relationship Department, Tufts University. Engaged in the child trafficking prevention project in Togo in 2004. In 2005 to 2010, engaged in the regional development service as the person in charge of Benin and Burkina Faso/Advocacy in the (special activity) Hunger-Free World International Business Division. Engaged as a TICAD IV/NGO network operation committee member in 2008 and as a team leader of Public Mobilization together with a governing board of Move -> Motivate from 2009 to 2010. Holds a current position as a lecturer of rights for food and advocacy.

Panel discussion “Aiming to Eradicate Poverty and Hunger in Africa”

< Facilitator >

➤ Tsutomu TAKANE, Dr.

Professor, Department of International Agricultural Development, Tokyo University of Agriculture. Doctor of Agriculture

Worked in Japan Overseas Cooperation Volunteers in Ghana from 1986 to 1988 and Asian Economic Research Center from 1989 to 2008. Received an incentive award from Japan Society of Regional and Agricultural Development in 2008 and an incentive award from Japan Association of African Studies in 2000. Has produced many books and theses including “Small agriculture in Malawi: Economic deregulation and rural communities in Africa” Institute of Developing Economies (Research library No.561), “The Cocoa Farmers of Southern Ghana: Incentives, Institutions and Change in Rural West Africa”, Institute of Developing Economies (Occasional Papers Series No.37), and “Transactions in the land market and conventional land system in farming communities in Africa: Case studies of Malawi” “Development study” (Volume 19, No.2).

< Panelist >

(Alphabetical order)

➤ Yoshiaki KANO

Advisor on Agricultural and Rural Department, Rural Development Department, Japan International Cooperation Agency (JICA)

Joined the International Technology Cooperation (predecessor of Japan International Cooperation Agency) after graduation from the Agriculture Department, Faculty of Agriculture, Utsunomiya University in 1972.

Retired in 2007 after holding the positions of the Manager of the Agricultural Technology Cooperation Section of the Agricultural Development Cooperation Department, Head of the Sri Lankan Office, Manager of the Forestry and Fishery Development Cooperation Department, Manager of the Forestry and Natural Environment Cooperation Department, Head of the Kenyan Office, and Head of the Tokyo International Center. Has held the current position since 2009.

➤ **Osamu KOYAMA**

Director, Research Strategy Office, Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS)

Born in 1954 at Saitama, Japan. After graduating from the Faculty of Liberal Arts, University of Tokyo in 1979, joined the Ministry of Agriculture Forestry and Fisheries. From 1986 to 1993, served as an Econometrician at the Food and Agriculture Organization (FAO), Rome. Continued food supply and demand analyses at JIRCAS. In 2002, appointed as Director, Development Research Division at JIRCAS. Currently Director, Research Strategy Office, JIRCAS.

➤ **Youzou NAKAO**

Associate General Manager, CSR Department

Joined Ajinomoto Co., Inc. in 1981 and was in charge of Marketing for domestic sales and the Gift Business Department of the Head Office. Assigned to Calpis Co., Ltd. in 1994 and held the position of project manager of "Calpis water" and "Ameal S". Holds the current position after establishing the CSR Department in 2005 following the Management and Planning Department, Head Office of Ajinomoto Co., Inc., in 2003.

➤ **Siaw ONWONA-AGYEMAN, Dr.**

Associate Professor, Tokyo University of Agriculture and Technology

Born in 1963 in Ghana. Holds the present position after worked as Teaching Assistant, Institute of Renewable Natural Resources, University of Science and Technology of Ghana, UN Researcher, Environmental Management Group, UN Center for Regional Development, Associate Professor, Faculty of Applied Biological Science, Gifu University, etc.

➤ **Chiyoko YOSHIDA**

Programme Coordinator for Uganda, Hunger Free World (HFW)

Responsibilities include communication and coordination with the affiliate in Uganda, fundraising and public relations in Japan for the works of HFW Uganda. Also in charge of translation and interpretation works for HFW. After worked as Secretary to ambassador of Turkey to Japan, Staff member of Secretariat of International Confederation of Free Trade Unions Japanese Affiliates Liaison Council, etc., joined The Hunger Project-Japan (the forerunner of HFW) in 1990.